

阿波しらさぎ大橋（仮称：東環状大橋）
橋脚が吉野川河口干潟に与える影響の定量評価報告書

東環状大橋（仮称）の名称は平成24年2月13日に次のように正式決定されました。

正式名称：「阿波しらさぎ大橋」

平成24年10月25日

徳島県 県土整備部 東部県土整備局

< 目 次 >

■ 第1章 概要	1
1.1 概要	1
1.2 既存報告書	6
1.3 事業の流れ	7
1.4 阿波しらすぎ大橋環境アドバイザー会議	9
■ 第2章 吉野川河口域に生息・生育する指標種について	10
2.1 概要	10
2.2 生物生息モデルの構築に向けた指標種の選定	11
■ 第3章 吉野川河口域における底生動物とヨシのモデル化の検討	13
3.1 概要	13
3.2 モデルの選定	16
3.2.1 選好度	16
3.2.2 決定木	19
3.2.3 ロジスティック回帰	21
3.2.4 HSI	23
3.2.5 モデルの選定	26
3.3 ヨシの生育モデルの検討	27
3.4 モデルの精度	30
3.5 課題	33
■ 第4章 吉野川河口域の物理環境特性の検討	34
4.1 概要	34
4.2 小規模攪乱力解析	35
4.3 地形変動解析	40
4.4 モデルの精度	45
4.4 考察・課題	46
■ 第5章 生物生息環境定量評価	50
5.1 概要	50
5.2 評価方法	51
5.3 結果	54
5.4 考察・課題	58

■ 第6章 生物生息環境定量評価結果および	
環境モニタリング調査結果を踏まえた事業の課題抽出	60
6.1 概要	60
6.2 橋脚の影響について	62
6.2.1 底生動物	62
6.2.2 魚類	65
6.2.3 植物	66
6.2.4 昆虫	71
6.3 上部工の影響について	73
6.4 その他の検討	76
6.4.1 橋脚周辺部の環境影響評価（ウモレマメガニ）	77
6.4.2 オオヨシキリの営巣環境	83
6.4.3 上位捕食者（アシハラガニ属）の生息要因について	86
6.4.4 ヨシの矮性化	87
6.4.5 ヒナノズキンガイ	89
■ 第7章 定量評価結果を受けた県のミティゲーションの考え方	91
7.1 計画段階でのミティゲーション	91
7.2 施工段階でのミティゲーション	91
7.3 ミティゲーションのうちの代償措置	92

<添付資料>

下記の6つの報告書のうち、本報告書を構成する内容を要約して添付している。

- (1) 東環状大橋（仮称）建設事業環境影響検討のあらまし（H15.8、徳島県）
- (2) 汽水域生態系モニタリング手法研究会管理運営業務報告書（H18.3、徳島大学環境防災研究センター）
- (3) 吉野川河口地形変動及び小規模攪乱力解析業務請負報告書（H19.3、国立大学法人 徳島大学）
- (4) H21 環道 徳島県東環状線徳・東吉野 2～北沖洲 4 環境モニタリング調査（142）報告書（H21.12、三洋テクノマリン株式会社）
- (5) H21 環道 徳島県東環状線徳・東吉野 2～北沖洲 4 環境モニタリング調査（140）報告書（H22.8、ニタコンサルタント株式会社）
- (6) H22 環道 徳島県東環状線徳・東吉野 2～北沖洲 4 環境モニタリング調査（159）報告書（H23.7、パシフィックコンサルタンツ株式会社）